

単 元 計 画 表

学年	題材「単元名」	単元の目標	活 動 内 容	備考（具体的な取組・時間）
3 年	私たちの町(70) 「すごいぞ！ ぼくのわたしの下仁田町」	○地域の魅力への気づき ○総合学習の学びのプロセスの獲得	・見学学習 ・地域(西牧、馬山など)や分野(食べ物、お店、世界遺産、特産物、文化など)ごとに調査活動を行う。 ・1学期は視点を地域・調査した内容をマップにする。 ・2学期は数か所に視点を絞り、3学期は班ごとに視点を決めて活動 ・各テーマごとのマッピング	・アサギマダラについては、「地域の魅力」の一つとして取り扱うことも考えられる。取り扱うなら、1学期に調べ、2学期にマーキング体験が良い。幼虫の育成は、アサギマダラの会の方の思いが強いため大変。扱うなら理科。
4 年	受け継いできたもの(50) 「下仁田町でつなげるバトン。 守ってきたみんなの文化」 「くらしやすい町にしよう」 (20)【福祉】	○自分と地域とのかかわりや、今と昔のつながりを感じるとともに、伝統や文化を守ろうとする人々の思いや願いを理解し発信する。	・見学学習、地域の方を呼んでインタビュー ・地域文化(温泉、お店、祭り、神社など)の主に歴史に関する調査活動。 ・地域文化の特色や特徴について調査。 ・地域文化への参入を促すような揭示物の作製。	・秋の祭りが10月頭なので、その辺りが山場。 ・2学期終盤から福祉に入ると良さそう。(福祉の内容としては、R6は高齢者体験、施設訪問など。※R7は導入としてブラインドサッカー体験が入る予定) ・深谷小との交流は、5年だけで対応可ならなしてよい。
5 年	町の特産物(50) 「大発見！おいしい下仁田」 「伝えよう私たちの心①」 (20)【キャリア：6年生を送る会】	○特産品について調べ、生育体験や製造体験をするとともに、特産品の生育に携わる人々の思いや願いを理解し発信する。	・見学学習、地域の方を呼んでインタビュー、特産品の講話(1～2学期)。 ・特産品(納豆、ねぎ、こんにゃく)の歴史、生育の調査学習。 ・農家の方々のインタビュー 類似点差異点を比較しメタ分析。 ・生育体験 パケツねぎなど(班ごとのプランターもあり) ・学習スケジュール：ねぎ→こんにゃく(主に製造過程)、納豆→ねぎ	・扱う内容的に、3学期に集中しそう。 ・ネギの育成、こんにゃく工場、どちらも最盛期は冬。 ・6年生を送る会も3学期。 ・R7については移行期間として「ジオパーク」を扱う。※新5年は3、4年で既習のものが多かった。 ・R6まで使用していた畑は使用不可。生育するにしても代案が必要。 ・深谷小との交流は、そこをゴールにしてアウトプットの方法を考える流れもあり。(R6までは4年、6年で対応)
6 年	「下仁田の魅力を発信しよう！」(50) 「伝えよう私たちの心②」 (20)【キャリア：卒業に向けて】	○地域が抱える課題解決に向けた具体的な取り組みを実践できる。	・(1～2学期)下仁田の課題を考える。 ・ジオパーク、荒船風穴、神津牧場などへの実地調査。 ・既習事項も含めた、下仁田の文化、特産品、世界遺産などの魅力の発信。 ・パンフレット等にして発信。 ・修学旅行等で他県に発信。	・深谷小との交流は、5年だけで対応可ならなしてよい。 ・ジオパークが入ってくると、少し内容が多い。
中 1	下仁田町(70・50：120) 「私たちの町を支える人」	○町の活動を支える人達の思いにふれ、そこから学び自分たちにできることを考える。	※小学校6年生での「パンフレット作り」をふまえ、「それを支える人」に焦点を当てた活動内容を組んでいく。 【活動】 ・「日光」修学旅行：他県の世界遺産と『荒船風穴』との比較。・観光地としてのあり方の比較・携わる人の思いを聞く。 ・「食(食育含む)」「世界遺産」「歴史」「観光」「特産品」「祭り」等に関わる人達に聞く。直接対話を通して、その思いに触れる。 ・感じたこと・学んだこと、自分たちにできることを考える。 ・福祉について体験を通して考える。・様々な職業について知る 【表現】スライドを作り発表会(個人・グループ)。ポスターセッションで発表。まとめの新聞、レポート作り	1 学期 旅行について(20時間) 2・3 学期 町の人(25時間) (発表は3学期) 3 学期 福祉・職業(5時間)
中 2・3	「自己の生き方を見つめる」 私と社会(70・70：140) 「下仁田学習のまとめをしよう」	○己の生き方を見つめ、将来について展望を持つ。 ○下仁田学習のまとめとして、各自のテーマに沿った研究・まとめをし、発信していく。	【活動】 ・職場体験 社会とつながる 社会とつなげる 「働く」という価値観を更新する。体験やマナーアップ講座等を通して、自身のキャリア、生き方を考える ・生徒主体の企画・運営 例：文化的行事等に関わる企画、運営を生徒主体で取り組む。また、町の行事(祭りなど)に関わる。 ・立志式の運営 【表現】プレゼンテーション・実際に行事を行う。立志式で自分の将来について考え、言葉で表現できるようにする。 【活動】 ・自己実現にむけて：これまでの総合的な学習の時間をまとめる。自身で計画を立案し、実現に向けた活動を行う。 ・自身で研究テーマを設定し、調査したり、まとめたりする活動を行う。(フィールドワーク・人とのつながりを取り入れて) 【表現】プレゼンテーション 研究発表 まとめるツールも自分で選択し、使用する。 ※高等学校との連携も重要	1 学期 旅行について(20時間) 2 学期 職場体験(30時間) (発表は様子で) 2・3 学期 立志式と 3 学期 上級学校調べ(20時間) 1 学期 旅行について(25時間) テーマ決定と 2・3 学期 テーマ研究と 進路学習(45時間)